

令和元年度東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム －震災伝承施設と震災アーカイブ－ 開催のお知らせ

国立国会図書館は、東北大学災害科学国際研究所との共催により、「東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム」を開催いたします。

東日本大震災の発災から9年近くを経過し、東日本大震災の被災地では、震災遺構の保存や震災伝承施設の開設等の計画が具体化されつつあります。平成31年3月には、岩手県釜石市で防災学習施設「いのちをつなぐ未来館」が開館し、令和元年9月には、岩手県陸前高田市で「いわて TSUNAMI メモリアル」が開館しています。

本シンポジウムでは、ハワイの太平洋津波博物館（Pacific Tsunami Museum）館長のマーリーン・スー・ムリー（Marlene Sue Murray）氏を特別講演者に招き、震災伝承施設の海外の事例として、同館の取組を紹介します。次に、国内各地の震災アーカイブや震災伝承施設について現状報告を行い、最後に、震災伝承施設と震災アーカイブがどのように関係していくことで、互いの利活用の向上につながるかを議論します。

○日時及び会場

日時：令和2年1月11日（土） 13:00～16:30（開場12:30～）

会場：東北大学災害科学国際研究所棟1階多目的ホール
（宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1）

○申込み方法

- (1)定員：200名（先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。）
- (2)参加費：無料
- (3)申込み：下記URLのシンポジウム案内にある申込みフォームからお申込みください。
<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>（みちのく震録伝）

問合せ先：

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野

担当：小野、柴山

電話番号：022(752) 2099

E-mail アドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

○プログラム

●特別講演

「太平洋津波博物館の取組について」

マーリーン・スー・ムリー（ハワイ太平洋津波博物館館長）

●報告①「震災の記録を伝える～震災アーカイブの進捗報告」

「北海道胆振東部地震から厚真町が伝えたいこと」

起田 淳（厚真町地域防災マネージャー）

長瀧 夢子（厚真町まちづくり推進課企画調整グループ主任）

「熊本大学の熊本地震アーカイブについて」

山尾 敏孝（熊本大学名誉教授）

「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）について」

中川 透（国立国会図書館電子情報部主任司書）

●報告②「震災の記憶を伝える～震災伝承施設の事例報告」

「防災学習施設「いのちをつなぐ未来館」

臼澤 渉（釜石市総務企画部総合政策課震災検証室長）

「東日本大震災津波伝承館（いわて TSUNAMI メモリアル）」

柴山 明寛（東北大学災害科学国際研究所准教授）

●パネルディスカッション

「震災伝承施設と震災アーカイブについて」

上記報告者全員